



麗水市等武術交流団派遣

2024年8月3日～10日

麗水市庁舎にて



平出利之団長(左)と溪慧平副主任



麗水市外事弁の方々、周和平副市長(中央平出会長右隣)、溪慧平副主任(右端)、
藍躍軍副主任(左端)



近藤輝菜さん 神保良知さん 加藤美海さん



桐山賢信氏 後ろは西原宏夫氏



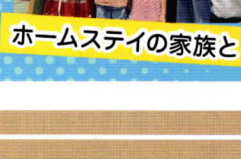
交流派遣団メンバー

役職	氏名	備考
団長	平出 利之	国際交流協会会長
	西原 宏夫	三島市観光協会会長
	桐山 賢信	静岡県中国武術協会理事 自強武術館代表
	近藤 輝菜	自強武術館(中学2年)
	近藤 瑞穂	自強武術館
	加藤 美海	自強武術館(中学2年)
	加藤 直美	自強武術館
	神保 良知	自強武術館(小学6年)
	神保 綾子	自強武術館
	望月 眞弓	国際交流協会理事
	大畠 公好子	国際交流協会理事
	秋本 あけみ	国際交流協会広報
	李 寧	三島市国際交流室職員

自強武術館、三島市観光協会、国際交流協会の合同の交流派遣団が、麗水市をはじめ、松陽県、温州、台州、杭州をめぐるて来ました。今回の訪問は桐山賢信氏(全日本武術太極拳選手権大会10連覇)率いる、自強武術館メンバーの武術交流を主に各地をめぐり、麗水市では周和平副市長等の方々の歓待を受け、外事弁OBの方々と旧交をあたためました。麗水市は現在空港を建設中で、工事の様子も見学しました。自然のコンサートホールのような洞窟での武術パフォーマンスを堪能。若者に人気の古民家村を訪問。温州体育学校では日本と中国の生徒による武術演技を見学して、自強武術館メンバーは2泊3日の合同練習に参加しました。台州では躍進中の企業を2社訪問。杭州では桐山氏の武術の師と、武術大会世界チャンピオンの華麗な技を見せて頂きました。静岡県上海事務所石川祐介所長、李虹さんも杭州へ駆けつけ、親交を深めました。4年ぶりの中国はシステムもかなり変化し、猛暑もあって大変でしたが、中国の『今』を体感した訪問になりました。

麗水市花園中学校訪問団来島

2024年7月14日～17日



三島市の友好都市、中国浙江省麗水市から、7月14日～17日
にかけ、5年ぶりに花園中学校の生徒12名引率教師1名が三
島市を訪れました。

7月16日には、市立南中を訪問し、日本の中学校の生活を体
験しました。校内見学の後、社会の授業では、10年前に花園
中を訪れた志村教頭から鑑真や阿倍仲麻呂を例に互いの文
化を尊重し理解しあう大切さを学びました。英語の授業はパ
ソコンやスマホを使って自己紹介など生徒同士でコミュニ
ケーションを取りながら全て英語で進められました。その
後、各クラスに別れて一緒に給食をいただき楽しく交流しまし
た。午後からは、芝本町の浅間神社で、芝町青年会の協力で
“しゃぎり”を体験し、一緒にしゃぎりの曲を演奏しました。
滞在中3泊のホームステイでは、一般家庭の生活も体験し、ホ
ストファミリーとの有意義なひと時を過ごしました。

なお、送別会の会場は、加和田建設(株)様よりご提供いただきました。有
り難うございました。



志村教頭(中央)の授業

スマホとパソコンで会話できたよ!

ホームステイの家族と

猛暑に
負けず!

夏期語学講座開催

7月2日～9月5日(全12回)

毎年好評の夏期語学講座が、今年も開催されました。
講座は、中国語、韓国語、スペイン語の3カ国語。猛暑にも負けず、
それぞれ11名、9名、6名の方が修了されました。



講座(中国語)の様子

多様性・異文化を実感! ~フレンドシップ2024報告



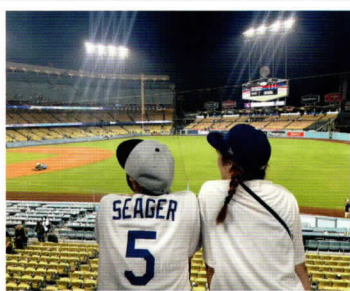
2024年8月3日(土)~8日(木)、三島市の中高大学生12人が姉妹都市アメリカカリフォルニア州パサディナ市を訪問し、両市の青少年交流プログラムである「フレンドシップ2024」に参加しました。

帰国後にまとめた感想文集には「見た目や言語が違って、奥底にある温かい気持ちや優しさは共通していると感じた」「日本で言われているほどアメリカ人はグイグイしてなくて普通だった。学校で習った英語も役立ったが、状況によっては違う表現もあった」「ドジャースタジアムのお土産売り場に大谷と山本のグッズがたくさんあり、誇らしく思った」など、驚きと喜びの表現で満ちあふれていました。

事前にオンライン交流を2回体験してからの渡航だったので準備万端と思いきや、やはり実際その場に立って経験したことは驚きの連続だったようです。この体験が、参加生徒の宝物になることを願います。



NASA/JPLで初めてみるマーズローバー



新しくできた友だちと野球観戦



ウェルカムピクニックでおそろいのTシャツをいただきました



ディズニーマジネーションキャンパスでのチームワーク養成講座



ホストチューデントとランチタイム

中国の二胡をきっかけに交流 “多呂サロン”

中国の楽器、二胡の演奏会が6月19日、多呂公民館にて“多呂サロン”の主催で開催されました。今年2月に安久コミュニティカフェで開催された演奏会をきっかけに、多呂地区でも実施して欲しいとの声があり実現しました。「みしま二胡楽坊」の皆さんの演奏は、細溝直子先生を中心に、9人の素敵な女性陣の息がぴったりそろった素晴らしい演奏でした。国際交流室職員の李寧さんも演奏に加わり、演奏前には李さんによる中国理解講座も開催。国と国との関係が緊張している時こそ、民間レベルでの文化や芸術、スポーツを通じた人と人とのつながりを強くすることで、平和を守っていききたいものです。



在住外国人交流事業『ゆかたを着よう』開催

7月21日(日)生涯学習センター和室にて、『ゆかたを着よう』が開催されました。この事業は、MIRA在住外国人交流委員会が“自分でゆかたを着てみよう”をテーマに初めて企画したもので、16名の方の参加がありました。小林豊子きもの学院の先生方のご協力をいただき、全員自分で着付けに挑戦しました。帯の回し方と体の回り方の違いに戸惑うなど、笑顔あふれる中で着付けが進みました。フランスからお越しの親子や、日大生、順天堂大学生の参加もあり、楽しく交流をしながらの着付け体験となりました。



せっかくきれいに着ることができたので、近隣の白滝公園に出向き、湧水が湧き出て木漏れ陽あふれる公園の中で、参加者どうして写真撮影をするなど盛り上がりしました。

外国からの参加者からは「難しかったが、楽しく良い体験ができた」と喜ばれました。三嶋大祭りでもゆかたを着てみたいという参加者もいるなど、日本の夏の文化を全員で満喫する楽しい1日となりました。

James Molloy - MIRA Newsletter #40

JIMのみしまものがたり④

夏の言葉

「夏」を一言か二言で表現するとしたら、みなさんはどんな言葉を思い浮かべますか？
きっと「暑い」とか「じめじめする」といった、少しだけネガティブな言葉が出てくるかもしれません。

最近では昼間の暑さを避け、日が沈んだ後に散歩をすることがよくあります。歩きながら、この絶え間ない暑さを少しでも楽に、或いは詩的にさえ変えられる言葉はないだろうかと考えました。私の脳裏に浮かんできた言葉は、Intensity (激しさ) & Serenity (静けさ) です。この季節には夏の日差しにのめり込んで、私たちの心に根付く静かな強さがあります。そう、夏の私たちのまちには、しゃがりの激しさが通りを駆け巡り、そのリズムの中には静けさと馴染みのある心地よさが宿っています。

三嶋大社の緑色が濃い木々の下に立ち、上から照らす太陽の光に包まれると、蝉の大合唱が私の心を落ち着かせ、夏が目に見える形で現れる様子に魅了されます。また、浴衣をまとった人びとが団扇を手に楽しげに歩いているのを横目に、激しく揺れる山車の上の人びとが奏でるリズムを聴くと、また一つの激しい夏が終わることをしみじみと味わうのです。

私が子供の頃に過ごしたニューファンドランドの静かな夏と比べると、ここでの夏の美しさは全く対照的だと感じます。三島の夏は、季節そのものと同じくらい激しい思い出を私に残してくれるのです。

激しさと静けさの季節の後は、鮮やかで美しい秋ですね。

続きは次号でお伝えします。

Always keep a little piece of summer tucked away for a rainy day.

せかいをつなぐ
心をつなぐ
三島市国際交流協会

申込み・問合せ

- ★ 三島市国際交流協会 (MIRA) 事務局
TEL 976-1020 FAX 976-1021
- ★ 三島市国際交流室
TEL 983-2645
三島市中央町5-5三島市役所中央町別館



▲ホームページ